

**1 活動名** スタンドパイプ消火資機材設置事業について (大和市)**2 調査の目的****(1) 本市における課題**

本市自主防災組織の消火資機材の中に、スタンドパイプは含まれていない。

**(2) 調査の必要性**

本市自主防災組織における初期消火活動をスムーズに行うために、スタンドパイプ設置の必要があると考え、実施している大和市の事業概要を知るとともに、設置の状況と課題を知るため。

**(3) 調査項目**

- ①スタンドパイプ消火資機材について

**3 調査地選定理由**

当市は、消火資機材にスタンドパイプを含めている。

**4 調査結果**

**(1) 実施日** 平成 29 年 8 月 1 7 日

**(2) 出席者** 3 名 上條美智子 近藤晴彦 勝野智行

**(3) 結果**

- ① 大和市は、木造住宅密集地域が多く、人口密度も神奈川県内で 2 番目に高い。震災時に想定される同時多発火災では、自主防災組織活動が極めて重要となる。そこで、初期消火に有効で、取扱いが容易なスタンドパイプ消火資機材が有効的であると考えて導入を進めている。
- ② 28 年度末で、150 自主防災組織中 147 組織へ合計 295 台の資機材を配布。
- ③ 24 時間営業のコンビニエンスストア 6 社及び鉄道会社 3 社とスタンドパイプ消火資機材設置に係る基本協定を締結。市内コンビニエンスストア 5 6 店舗、駅 2 駅に設置。
- ④ 扱いが容易で、訓練がさほど必要ない。

**(4) 成果・所感等**

消火栓に消火用ホースを接続する際、体をかがめて道路下にある放水口に取付けなければならない。また、ホースも道路面に上がったところで折れた状態になっている。スタンドパイプを使用することで、立ったまま取り付けでき、ホースも折らずに放水できる。

**5 政務活動費**

**(1) 使途項目** 調査旅費

**(2) 支出額** 212,970 円 (交通費 30,390 宿泊費 29,600 日当 9,000  
入館料 920) x 3 人 土産代 3,240